

# ふれあい福祉コーナー

## ”ご存じですか？” コミュニケーション 支援ボード

「コミュニケーション支援ボード」は、知的障がいのある方など、話し言葉によるコミュニケーションが苦手な人とのコミュニケーションを助けるためのもので、さまざまな状況に対応できるようにわかりやすい絵が描かれています。知的障がいのある児童が外出時に携帯したり、市内の公共施設などに設置されていますが、皆さんはご覧になったことがありますか？

これは、全国知的障害養護学校長会および財団法人明治安田こころの健康財団の主催で考案されたものですが、「知的障がいのある児童が地域に理解され、社会に支えられながら安心して日常生活を送ることができきつかけにしたい」と県立三郷養護学校が八潮イブニングロータリークラブ協賛のもと発行し、市内でも昨年から公共施設などに設置しています。皆さんも公共施設に行ったときに、

ぜひこのボードを手にとってご覧ください。また、近くに何か困っている様子の人がいたら、ボードを活用して声をかけてあげましょう。

### 《基本的な使い方》

- ・言葉でうまく伝え合えないとき、そのやりとりの最中にボードを差し出し、その人に指さしてもらいます。
- ・指さしすることが困難な人には、こちらが指さして聞いてあげてください。
- ・多くの言葉を使うことはやめ、ゆっくりボードを見せて待つてあげてください。

また、財団法人明治安田こころの健康財団のホームページ (<http://www.my-kokoro.jp/communication/index.shtml>) からボードおよびその使用方法について解説した「クイック・マニュアル」をダウンロードすることができます。

なお、12月8日から12日まで、市役所ロビーにおいて、知的障がいのある児童の理解に関するパネルを展示します。ぜひご覧ください。  
障害福祉課 ☎4288



## 13万人のにぎわい! やしお市民まつり



第17回やしお市民まつりが、10月26日、市役所周辺とけやき通りで開催されました。当日は、朝方降っていた雨も開会式が行われる頃には上がり、キャラクターショーや物産展示即売会、模擬店、おばけ屋敷、子ども向けのゲームなどが市役所周辺で、小学生の鼓笛隊や大人みこし、流し踊りや阿波踊りなどのパレードがけやき通りで行われ、約13万人の人手で、大変なにぎわいとなりました。また、前日の25日には、市民まつりのイベントとして小学生による「わんぱく相撲」が文化スポーツセンター相撲場で行われたほか、前夜祭として八潮市観光協会主催による若手アーティストによる音楽イベント「スターライトライブ」が八潮駅構内で行われました。

## みんなで力を合わせてゴールを目指せ!



満開のコスモスで彩られた中川やしおフラワーパークで、「第11回ボートフェスタ」(八潮市体育協会主催)が10月19日開催されました。秋晴れの中、約4,500人の来場者は「高校レガッタ」「Eボート」の大会やクルーザー乗車体験、カーニバル体験、フリーマーケット、各種催しを楽しんでいました。実行委員長の川澄吉夫さんは、「過去10回のボートフェスタを踏襲する形で11回目を迎えることが出来た。また来年に向け、市民の皆さんに川に親しんでいただけるボートフェスタにしていきたい」と来年に向けての豊富を話されていました。各大会の優勝チームは次のとおりです。  
高校レガッタ 男子の部・八潮高校 女子の部・南稜高校  
Eボート チームらっばー

## 光る汗! 地域の和 市民体育祭



10月12日、穏やかな秋晴れの下、「伸びゆく八潮 心豊かに たくましく」を大会スローガンに、八潮高校で第35回市民体育祭が開催されました。24町会・自治会の皆さんが、綱引き、大玉ころがし、小学生リレーや町会・自治会対抗リレーなど13競技種目に参加して、さわやかな汗を流し、スポーツの秋を満喫していました。対抗競技による総合成績上位の結果は次のとおりです。  
1位=上二丁目町会 2位=大原町会 3位=垢町会

## みんなで進めよう! リサイクル



10月5日、リサイクルプラザで「第19回八潮リサイクルフェア」が開催されました。リサイクルに関する標語・ポスターの入選者の表彰、再生品(自転車、家具など)の入札販売、ガレージセールなどが行われ、約1,500人の来場者でにぎわいました。実行委員長の豊田晃さんは、「各団体等の日ごろの努力と協力により盛大にリサイクルフェアを開催することができた。市民と行政が一体となってゴミの減量化やリサイクルを進めてもらいたい」と話されていました。

# いきいきやしお写真館